

| | | | |
|--------|-----------|---------|--|
| 授業科目名 | 健康社会学演習 I | 科目番号 | 02EU352 |
| 単位数 | 3 | 担当教員 | 武田文・朴峠周子 |
| 授業時間 | 通年 応談 | 研究室 | D509 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | takeda@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 1年～3年 | オフィスアワー | メールで予定確認の上、訪問すること |

授業の到達目標 健康社会学研究にかかわる理論とアプローチを学ぶ。

授業の概要 母子保健・老人保健の各領域から近年の主要トピックにかかわる基本文献を講読し、健康社会学の理論とアプローチを学ぶ。

テキスト 特に定めない

参考図書 授業の中で紹介する

成績評価の方法 出席とレポート

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|---|------|--------------------------|
| | 武田文 | 健康の概念モデル |
| | | ヘルスプロモーションの理念 |
| | | QOL・生活機能の理論 |
| | | 健康教育実践モデル |
| | | 妊産婦・乳幼児・高齢者の心身健康の課題と健康政策 |

| | | | |
|--------|----------|---------|--|
| 授業科目名 | 健康社会学演習Ⅱ | 科目番号 | 02EU353 |
| 単位数 | 3 | 担当教員 | 武田文 |
| 授業時間 | 通年 応談 | 研究室 | D509 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | takeda@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 1年～3年 | オフィスアワー | メールで予定確認の上、訪問すること |

授業の到達目標 健康社会学研究にかかわる理論とアプローチを学ぶ。

授業の概要 産業保健・学校保健の各領域から近年の主要トピックにかかわる基本文献を講読し、健康社会学の理論とアプローチを学ぶ。

テキスト 特に定めない

参考図書 授業の中で紹介する

成績評価の方法 出席とレポート

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|------|------|---|
| 1～20 | 武田文 | 健康の心理社会的要因 ストレス対処力の形成と機能の理論 ストレスモデルの理論 小～大学生・労働者の心身健康の課題と健康政策 対人専門職の職業性ストレス |

| | | | |
|--------|-------------|---------|--|
| 授業科目名 | 健康社会学特別研究 I | 科目番号 | 02EU372 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 武田文 |
| 授業時間 | 春C 月1,2 | 研究室 | D509 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | takeda@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 2年～3年 | オフィスアワー | メールで予定確認の上、訪問すること |

授業の到達目標 学位論文の研究計画から論文作成・発表にわたる一連のプロセスを理解し実践する。

授業の概要 健康社会学研究の具体的プロセスについて、問題の決定と仮説の形成、社会調査の準備・実施、統計分析、結果の考察などを中心に学位論文作成の個別指導を行う。

テキスト 特に定めない

参考図書 授業の中で紹介する

成績評価の方法 出席と課題

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|------|------|-----------|
| 1 | 武田文 | オリエンテーション |
| 2～10 | 武田文 | 発表と討議 |

| | | | |
|--------|------------|---------|--|
| 授業科目名 | 健康社会学特別研究Ⅱ | 科目番号 | 02EU373 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 武田文 |
| 授業時間 | 秋C 月1,2 | 研究室 | D509 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | takeda@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 2年～3年 | オフィスアワー | メールで予定確認の上、訪問すること |

授業の到達目標 学位論文の研究計画から論文作成・発表にわたる一連のプロセスを理解し実践する。

授業の概要 健康社会学研究の具体的プロセスについて、問題の決定と仮説の形成、社会調査の準備・実施、統計分析、結果の考察などを中心に学位論文作成の個別指導を行う

テキスト 特に定めない

参考図書 授業の中で紹介する

成績評価の方法 出席と課題

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|------|------|-----------|
| 1 | 武田文 | オリエンテーション |
| 2～10 | 武田文 | 発表と討議 |

| | | | |
|--------|----------|---------|--|
| 授業科目名 | 健康社会学研究法 | 科目番号 | 02EU374 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 武田文 |
| 授業時間 | 春C 月3,4 | 研究室 | D509 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | takeda@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 1年～3年 | オフィスアワー | メールで予定確認の上、訪問すること |

授業の到達目標 健康社会学研究に必要な研究技法を習得する

授業の概要 文献レビューから仮説の形成、調査の準備と実施、統計分析の各手法まで、健康社会学領域における研究方法を学ぶ。

テキスト 特に定めない

参考図書 授業の中で紹介する

成績評価の方法 出席と課題

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|------|------|---|
| 1 | 武田文 | 仮説モデル |
| 2～10 | 武田文 | 用語概念の定義 研究デザイン 票本抽出と調査票作成 統計分析 |

| | | | |
|--------|----------------|---------|--|
| 授業科目名 | ストレスマネジメント演習 I | 科目番号 | 02EU375 |
| 単位数 | 2 | 担当教員 | 水上勝義 |
| 授業時間 | 春AB 火7・8 | 研究室 | D511 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | kmizukam@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 1-3年 | オフィスアワー | 水曜日11:00-12:00 |

授業の到達目標 各自の論文作成、完成のため、研究テーマの設定、研究計画の作成、研究の実施、論文作成法について習得する。

授業の概要 ストレスマネジメントあるいは高齢者のメンタルヘルス領域の各自の研究テーマに関連する先行研究、論文の概要や、各自の研究について発表する。その発表について教員・他の受講者と集団討論する。出された課題の検討を行いながら、自らの研究計画を作成、論文作成の演習を行う。

テキスト 特に定めない

参考図書 適宜紹介する

成績評価の方法 授業への出席・参加状況、課題遂行状況を中心に評価する。

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|---------|------|-----------|
| 第1回 | 水上勝義 | オリエンテーション |
| 第2回-10回 | 水上勝義 | 発表と討論 |

| | | | |
|--------|---------------|---------|--|
| 授業科目名 | ストレスマネジメント演習Ⅱ | 科目番号 | 02EU376 |
| 単位数 | 2 | 担当教員 | 水上勝義 |
| 授業時間 | 秋AB 金7・8 | 研究室 | D511 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | kmizukam@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 1－3年 | オフィスアワー | 水曜日11:00-12:00 |

授業の到達目標 各自の論文作成、完成のため、研究テーマの設定、研究計画の作成、研究の実施、論文作成法について習得する。

授業の概要 高齢者のメンタルヘルスあるいはストレスマネジメント領域の各自の研究テーマに関連する先行研究、論文の概要や、各自の研究について発表する。その発表について教員・他の受講者と集団討論する。出された課題の検討を行いながら、自らの研究計画を作成、論文作成の演習を行う。

テキスト 特に定めない

参考図書 適宜紹介する

成績評価の方法 授業への出席・参加状況、課題遂行状況を中心に評価する。

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|---------|------|-----------|
| 第1回 | 水上勝義 | オリエンテーション |
| 第2回-10回 | 水上勝義 | 発表と討論 |

| | | | |
|--------|------------------|---------|--|
| 授業科目名 | ストレスマネジメント特別研究 I | 科目番号 | 02EU377 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 水上勝義 |
| 授業時間 | 春C 金7・8 | 研究室 | D511 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | kmizukam@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 2,3年 | オフィスアワー | 水曜日11:00-12:00 |

授業の到達目標 研究課題の決定、研究計画の作成、調査の準備・実施・分析の各方法、結果の考察など論文作成の個別指導を行う。

授業の概要 ストレスマネジメントあるいは高齢者のメンタルヘルスに関連した領域から研究課題を決定し、研究計画の作成、調査の準備・実施・分析の各方法、結果の考察など論文作成の個別指導を行う。

テキスト 特に定めない

参考図書 適宜紹介する

成績評価の方法 授業への出席・参加状況、課題遂行状況を中心に評価する。

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|--------|------|-----------|
| 第1回 | 水上勝義 | オリエンテーション |
| 第2回-5回 | 水上勝義 | 博士論文指導 |

| | | | |
|--------|-----------------|---------|--|
| 授業科目名 | ストレスマネジメント特別研究Ⅱ | 科目番号 | 02EU378 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 水上勝義 |
| 授業時間 | 秋C 金7・8 | 研究室 | D511 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | kmizukam@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 2,3年 | オフィスアワー | 水曜日11:00-12:00 |

授業の到達目標 研究課題の決定、研究計画の作成、調査の準備・実施・分析の各方法、結果の考察など論文作成の個別指導を行う。

授業の概要 高齢者のメンタルヘルスあるいはストレスマネジメントに関連した領域から研究課題を決定し、研究計画の作成、調査の準備・実施・分析の各方法、結果の考察など論文作成の個別指導を行う。

テキスト 特に定めない

参考図書 適宜紹介する

成績評価の方法 授業への出席・参加状況、課題遂行状況を中心に評価する。

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|--------|------|-----------|
| 第1回 | 水上勝義 | オリエンテーション |
| 第2回-5回 | 水上勝義 | 博士論文指導 |

| | | | |
|--------|---------------|---------|--|
| 授業科目名 | ストレスマネジメント研究法 | 科目番号 | 02EU379 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 水上勝義 |
| 授業時間 | 春ABC 応談 | 研究室 | D511 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | kmizukam@taiiku.tsukuba.ac.jp |
| 標準履修年次 | 1-3年 | オフィスアワー | 水曜日11:00-12:00 |

授業の到達目標 研究計画の作成、結果の分析方法、論文作成法について修得する。

授業の概要 ストレスマネジメントあるいは高齢者のメンタルヘルスに関連する文献を検討し研究の方法を習得する。

テキスト 特に定めない

参考図書 適宜紹介する

成績評価の方法 授業への出席・参加状況、課題遂行状況を中心に評価する。

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|--------|------|--------------|
| 第1回 | 水上勝義 | オリエンテーション |
| 第2回-5回 | 水上勝義 | 発表、討論、論文作成指導 |

| | | | |
|--------|-----------------|---------|--------------|
| 授業科目名 | ヘルスカウンセリング学演習 I | 科目番号 | 02EU380 |
| 単位数 | 2 | 担当教員 | 橋本佐由理 |
| 授業時間 | 春AB 金5・6 | 研究室 | D510 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | 内3964 |
| 標準履修年次 | 1-3年 | オフィスアワー | 金13:00~15:00 |

授業の到達目標 ヘルスカウンセリング学や健康行動科学やストレス科学に関する文献について、学生が自己の研究課題に関連付けながら、国内外の先行研究のレビューをして発表し、理論や実践面からの討議を行うとともに、研究方法について演習する。

授業の概要 春学期に開講し、ヘルスカウンセリング学や健康行動科学やストレス科学に関する文献的考察を行うとともに、健康課題別のヘルスカウンセリング実践事例などを取り上げ、支援技法についても理解する。授業は、資料に基づいて討論を中心に行う。

テキスト 宗像・小森・鈴木・橋本・鈴木著「SAT法を学ぶ」金子書房(2007)

参考図書 宗像恒次著「SAT療法」金子書房(2005)
宗像恒次監修「カウンセリング医療と健康」金子書房(2004)

成績評価の方法 1. 自己の課題発表レポート3回(50%)
2. 授業への積極的態度(30%)
3. 出席状況(20%)

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|------|-------|---------------------------------|
| 第1回 | 橋本佐由理 | オリエンテーションと書籍や論文紹介、および課題設定 |
| 第2回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(1)(2)、ヘルスカウンセリング学に関する文献検討 |
| 第3回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(3)(4)、ヘルスカウンセリング学に関する文献検討 |
| 第4回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(5)(6)、健康行動科学に関する文献検討 |
| 第5回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(7)(8)、健康行動科学に関する文献検討 |
| 第6回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(9)(10)、健康行動科学に関する文献検討 |
| 第7回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(11)(12)、ストレス科学に関する文献検討 |
| 第8回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(13)(14)、ストレス科学に関する文献検討 |
| 第9回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(15)(16)、ストレス科学に関する文献検討 |
| 第10回 | 橋本佐由理 | まとめ |

| | | | |
|--------|----------------|---------|--------------|
| 授業科目名 | ヘルスカウンセリング学演習Ⅱ | 科目番号 | 02EU381 |
| 単位数 | 2 | 担当教員 | 橋本佐由理 |
| 授業時間 | 秋AB 金5・6 | 研究室 | D510 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | 内3964 |
| 標準履修年次 | 1－3年 | オフィスアワー | 金13:00～15:00 |

授業の到達目標 ヘルスカウンセリング学やストレスマネジメント論に関する文献について、学生が自己の研究課題に関連付けながら、国内外の先行研究のレビューをして発表し、理論や実践面からの討議を行うとともに、支援技法や研究方法について演習する。

授業の概要 ヘルスカウンセリング学やストレスマネジメント論に関する文献について、学生が自己の研究課題に関連付けながら、国内外の先行研究のレビューをして発表し、理論や実践面からの討議を行うとともに、支援技法や研究方法について演習する。

テキスト 宗像・小森・鈴木・橋本・鈴木著「SAT法を学ぶ」金子書房(2007)

参考図書 宗像恒次著「SAT療法」金子書房(2005)
宗像恒次監修「カウンセリング医療と健康」金子書房(2004)

成績評価の方法 1. 自己の課題発表レポート3回(50%)
2. 授業への積極的態度(30%)
3. 出席状況(20%)

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|------|-------|-----------------------------|
| 第1回 | 橋本佐由理 | オリエンテーションと書籍や論文紹介、および課題設定 |
| 第2回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(1)(2)、生活習慣病へのカウンセリング |
| 第3回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(1)(2)、糖尿病へのカウンセリング |
| 第4回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(5)(6)、うつへのカウンセリング |
| 第5回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(7)(8)、高齢者支援のカウンセリング |
| 第6回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(9)(10)、子育て支援のカウンセリング |
| 第7回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(11)(12)、教育現場へのカウンセリング |
| 第8回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(13)(14)、職場へのカウンセリング |
| 第9回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(15)(16)、専門職者へのカウンセリング |
| 第10回 | 橋本佐由理 | まとめ |

| | | | |
|--------|-------------------|---------|--------------|
| 授業科目名 | ヘルスカウンセリング学特別研究 I | 科目番号 | 02EU382 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 橋本佐由理 |
| 授業時間 | 春C, 金5,6 | 研究室 | D510 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | 内3964 |
| 標準履修年次 | 2・3年 | オフィスアワー | 金13:00～15:00 |

授業の到達目標 各自の研究課題に基づき、研究計画のデザインや調査の実施、分析、結果についてまとめ発表し、討議をする。また、各自の関連学会での研究発表を行い、その際の議論も踏まえて研究を深める。さらに、学会誌への論文投稿をする。

授業の概要 ヘルスカウンセリング学や健康行動科学やストレス科学における課題解決に向けた研究計画をデザインし、その研究計画に基づいたフィールドでの調査研究の実施、分析方法、結果の検討を行い、博士論文の作成を指導する。

テキスト 随時指定する

参考図書 朝倉監訳「保健・医療のための研究法入門」協同医書出版社(2001)
無藤他編「質的心理学」新曜社(2004)

成績評価の方法 1. 研究計画や実施分析結果の発表レポート2回(50%)
2. 授業への積極的態(30%)
3. 出席状況(20%)

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|-----|-------|-------------------|
| 第1回 | 橋本佐由理 | オリエンテーションと書籍や文献紹介 |
| 第2回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(1)(2) |
| 第3回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(3)(4) |
| 第4回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(5)(6) |
| 第5回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(7)(8) |

| | | | |
|--------|------------------|---------|--------------|
| 授業科目名 | ヘルスカウンセリング学特別研究Ⅱ | 科目番号 | 02EU383 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 橋本佐由理 |
| 授業時間 | 秋C, 金5,6 | 研究室 | D510 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | 内3964 |
| 標準履修年次 | 2・3年 | オフィスアワー | 金13:00～15:00 |

授業の到達目標 各自の研究課題に基づき、介入計画の実施、分析、結果についてまとめて発表し、討議をする。また、各自に必要な介入スキルの向上に努める。関連学会での研究発表を行い、その際の議論も踏まえて研究を深める。さらに、学会誌への論文投稿をする。

授業の概要 ヘルスカウンセリング学やストレスマネジメント論における課題解決に向けた介入研究法に関して文献的考察や介入実践の研究結果の検討を行い、博士論文の作成を指導する。

テキスト 随時指定する

参考図書 宗像・小森・鈴木・橋本・鈴木著「SAT法を学ぶ」金子書房(2007)
宗像恒次「SAT療法」金子書房(2005)

成績評価の方法 1. 研究計画や実施分析結果の発表レポート2回(50%)
2. 授業への積極的態度(30%)
3. 出席状況(20%)

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|-----|-------|-------------------|
| 第1回 | 橋本佐由理 | オリエンテーションと書籍や文献紹介 |
| 第2回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(1)(2) |
| 第3回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(3)(4) |
| 第4回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(5)(6) |
| 第5回 | 橋本佐由理 | 発表と討議(7)(8) |

| | | | |
|--------|---------------|---------|--------------|
| 授業科目名 | ヘルスカウンセリング学実習 | 科目番号 | 02EU384 |
| 単位数 | 1 | 担当教員 | 橋本佐由理 |
| 授業時間 | 通年, 応談 | 研究室 | D510 |
| 科目の種類 | 演習 | メールアドレス | 内3964 |
| 標準履修年次 | 1-3年 | オフィスアワー | 金13:00~15:00 |

授業の到達目標 各自の研究課題に基づき、介入計画の実施に必要な介入スキルの習得をする。事前学習として習得技法に関する自己の課題設定と目標の設定、2日間の実習、事後学習としての実習参加報告書の提出をする。技能の習得と課題解決のための自己のフィールドで応用可能なシステムを開発する。

授業の概要 セルフケア行動を支援するヘルスカウンセリングやヘルスコーチング、イメージ療法やストレスマネジメント法に関する各種技法について体験学習を行う。

テキスト オリジナルテキスト使用

参考図書 宗像・小森・鈴木・橋本・鈴木著「SAT法を学ぶ」金子書房(2007)
宗像恒次「SAT療法」金子書房(2005)

成績評価の方法 1. 実習参加報告書の提出(50%)
2. 実習への積極的態度(30%)
3. 出席状況(20%)

授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容 |
|-------|-------|----------------------------|
| 第1~5回 | 橋本佐由理 | オリエンテーション、理論、基本技法、体験学習、まとめ |